

# 令和5年度 山口県学力定着状況確認問題の結果について 【中学校】

下松市教育委員会

## 1 結果の公表 にあたって

令和5年度「山口県学力定着状況確認問題」は、児童生徒の学力の状況や生活習慣、学習環境の状況を調査し、県内すべての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図ることを目的として実施されました。また、昨年度に引き続き、1人1台端末（タブレット）を使用した方式での実施となりました。

今回の結果をもとにして、本市におきましても、引き続き、学校と家庭・地域が連携・協働し一体となった取組を推進してまいりたいと考えておりますので、御協力をお願いします。

### ○ 実施期日

- ・令和5年10月16日（月）～10月18日（水）小学校6年、中学校2年
- ・令和5年10月18日（水）～10月20日（金）小学校5年、中学校1年

### ○ 実施内容

小学校5、6年生 国語、算数

中学校1、2年生 国語、数学（※中学校2年生は英語も実施）



## 2 教科に関する 問題の結果 について

【国語】 1年生・2年生ともに県平均正答率を上回っている。

【数学】 1年生・2年生ともに県平均正答率を上回っている。

【英語】 県平均正答率を大きく上回っている（5.6ポイント）。

→ 記述式問題（考えを書く、理由や方法を説明する等）においては、一定の成果が見られます。問題によっては、県平均を10ポイント以上上回る問題もありました。思考力や判断力を要する問題も引き続き一定の成果が見られています。学年・教科に差がありますので、定着に向けて、今後とも確実に基礎的な学習内容を習得しておくことが重要です。

### ◎（市平均正答率の高かった問題） ▲（市平均正答率の低かった問題）

## 国語

- ◎ 季節にあった適切な言葉を使うこと（1年）
- ◎ 叙述を基に、文章の大体を捉えること（2年）
- ◎ 接続する語句を正しく使うこと（2年）
- ▲ 表現技法について理解すること（1年）
- ▲ 図などから分かることを文章にまとめること（2年）



## 数学

- ◎ 分数の加法の計算ができること（1年・2年）
- ◎ 線対象な図形について、対象の軸の本数を求めることができること（1年）
- ◎ 投影図を理解すること（2年）
- ▲ 日常の場面で、最大公約数を活用できること（1年）
- ▲ 投影図から立体の表面積を求めること（2年）



## 英語

- ◎ 基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うこと
- ◎ 日常の話題について、情報を正確に聞き取ることができること
- ▲ 文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くこと



3 課題の見られた問題例

国語 図などから分かることを文章にまとめる問題 【2年】

4 (1) 山本さんは、【意見文の下書き】の「全国より早いペースで人口減少、少子高齢化が進んでいる」の根拠を挙げたほうがよいと考え、 に、【資料1】から分かることを書き加えることにしました。あなたならどのような文章を書くか。次の<条件>に合わせて書きなさい。

<条件1> 【資料1】から必要な情報を引用して書くこと。

<条件2> 書き出しの言葉(2020年の国勢調査によると)に続けて、70字以上90字以内で書くこと。

意見文の下書き

山口県は、全国より早いペースで人口減少、少子高齢化が進んでいる。2020年の国勢調査によると、。  
～略～

※ 県平均正答率を下回り、21%台の正答率でした。

【資料1】

山口県の人口(国勢調査結果から)

○2020年の本県の人口は134万人となり、前回(2015年)調査と比べると、人口は62,670人(4.5%)の減少。減少数、減少率ともに過去最大の減少幅。  
○15歳から64歳までの人口の総数に占める割合は前回調査から1.9ポイント減少、15歳未満人口も0.7ポイント減少。逆に、65歳以上人口は2.6ポイント上昇した。

人口	年次	人口	前回調査との比較	
			増減数	増減率
山口県	2020年	1,342,059	△62,670	△4.5
	2015年	1,404,729	△46,609	△3.2
全国	2020年	126,146,099	△948,646	△0.7
	2015年	127,094,745	△962,607	△0.8

年齢3区分別人口

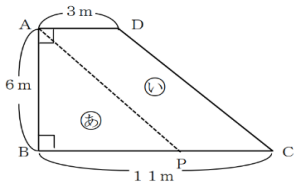
人口	15歳未満	15～64歳	65歳以上
	山口県	153,838 (△16,568)	723,588 (△60,996)
割合	11.5 (△0.7)	53.9 (△1.9)	34.6 (2.6)
全国順位	33位 [35位]	44位 [44位]	3位 [4位]

(1)内は前回の増減 (2)内は前回の順位

数学 条件に合う線分の長さを求める問題 【1年】

3 (2) 以下の図のように、台形の形をした土地があります。頂点Aと、辺BCを通る点Pで結んだ直線で土地を2つに分けたとき、2つの土地 ㊦ と ㊧ の面積が等しくなりました。このとき、BPの長さを次の中から1つ選びなさい。

- 6m
- 7m
- 8m
- 9m



※ 県平均正答率を同程度、23%の正答率でした。

英語 文脈に合うように、基本的な文法事項を活用し英文を書く問題 【2年】

5 ( )内の語を用いて、必要があれば適切な形に変えたり、不足している言葉を補ったりして、会話が成り立つ英文を完成させ、( )内に3語以上で入力しなさい。

(1)【場面】ケイト(K)とシンジ(S)は休みの思い出を話しています。

K: I went to USJ with my family.

S: Wow! ( enjoy ) there?

→ ( )

K: Many shows and attractions! Jaw was fun.

S: That's great!

※ 県平均正答率を上回っていますが、7%台の正答率でした。

4 今後の取組

★ 学 校

● 学校の組織的取組の強化

(学力向上プランの重点化、教科・学年の枠を超えた研修の推進等)

● 児童生徒が学習を振り返りながら、学力の向上を図る授業改善

(誤答分析を生かした授業改善、「キラリくだまつ授業づくり」の活用等)

● 校内研修の活性化と指導の充実

(「育成すべき資質・能力を確実に育む授業改善」、「やまぐち学習支援プログラム」の活用、個に応じた補充学習等)

★ 家庭・地域

● 学習・生活習慣の確立

(「家庭学習の手引き」等の活用、家庭における生活習慣の見直し等)

● コミュニティ・スクール、やまぐち型地域連携教育の仕組みを生かした学習支援

(地域の人材を活用した授業や取組等)

★ 下松市教育委員会

● 「キラリくだまつ授業づくり」

に基づいた授業改善の推進

● 授業における「振り返り」活動の推進

● 課題と考えられる状況等の情報提供

● 学校訪問等による指導・助言

● 「主体的・対話的で深い学び」

をめざした授業づくりに関する指導・助言